

CSR・SDGs
活動に役立つ！



7540

学校現場への
『企業参画』
を実現するコツ



456

はじめに

CSRやSDGsにより、企業が教育現場へ参画する必要性は近年さらに増してきています。また、コロナウイルスの蔓延に伴い、企業の学校現場への参画の仕方も変化しています。このような状況下で

- ・「どうやって」教育現場へ参画するのかがわからない
- ・近隣の学校だけじゃなく、もっと多くの学校に工場見学に来てほしい
- ・出前授業はやっているが、今一つ実施数が上がらない

とお問い合わせいただく機会が増えてきております。

そこで本誌では、企業が教育現場に参画した実例とともに、そのポイントをご紹介します。

NHKエデュケーショナルが企画支援をした『企業×教育現場』の実現事例



事務局委託でサステナブルな長期活動を実現



新しい商品の使い方を先生にもわかりやすく提示

目次

- ・学校教育への企業参画実現の『3つのカベ』
- ・NHKエデュケーショナルが実現できること
- ・学校教育へ企業参画をするメリット
- ・学校への企業参画成功事例

事例①：事務局委託でサステナブルな長期活動を実現～日本マクドナルド「食育プロジェクト」

事例②：新しい商品の使い方を先生にもわかりやすく提示

- ・会社概要

学校教育への企業参画実現の『3つのカベ』

いざ、教育現場に参画するとなっても、そこには実現を妨げる『3つのカベ』があり、なかなか参画できない企業が多くいらっしゃる事が現状です。

■ 『教育現場』の壁

教育現場への参画は、企業や個人客へリーチするものとは異なり、どこへどのように働きかければ良いかがわからない場合があります。近隣のつながりで地域の小中学校の協力を得ることができても、それ以上の広範な多くの学校と関わりを持つのは難しいことです。

■ 『教材化』の壁

せっかく教育コンテンツを用意しても、学校側が求めている教育内容と合致していない場合があります。「どの学年向けなのか？」「どの教科の時間を当てればいいのか？」と、年間授業数が決められている学校としては悩むところです。また、現在急速に普及しつつあるGIGAスクール構想では、「児童生徒に一人一台端末」を活用したオンライン授業の実施が求められています。PCやタブレットでの使いやすさも教材化の一つのポイントです。

■ 『映像コンテンツ』の壁

そうしたICT教育の教材の中でも重要なのが「映像コンテンツ」です。PCやタブレットで、児童生徒が興味を持って見ることができる映像が必要になります。「わかりやすく、面白い子ども向け教育動画」を作るためには、ある程度の知見と専門性が必要です。



NHKエデュケーショナルが実現できること

企業のニーズや取り組みを、文部科学省の定める学習指導要領に沿った教科に落とし込み、単なる企業紹介ではなく、専門家の監修のもと、学習効果が期待できる授業案や教材（動画やワークシート等）として制作します。また、多くの学校に紹介するうえで、授業実践の支援をすることも可能です。

映像コンテンツの作成

- ✓ 豊富な映像制作実績
- ✓ サービス・商品を教育コンテンツに

オンライン、オフラインの支援実績

- ✓ 工場見学・社会科見学の支援
- ✓ 映像を通じたオンライン教育支援

教育現場との連携

- ✓ 20,000校を超える学校と連携
- ✓ 教育カリキュラムにも完全対応

教育現場へ企業が参画するメリット

■ CSR・SDGs活動の実績作りとZ世代、α世代へのリーチが一挙にできます

CSR活動は、企業が社会貢献活動をすることにより、**企業イメージの向上**に結びつきます。また、**近年取り組みの必要性が高まっているSDGs**の17ある目標に「4.質の高い教育をみんなに」と掲げられています。

「出前授業」や「工場見学」のように、学校教育と結びついた活動は、子どもたちの教育に資するという**CSR及びSDGsの活動実績**を得られると共に、**Z世代、α世代**といった次世代を担う若年層へのアピールができます。



教育現場へ企業が参画するために

■ CSR・SDGs活動を学校カリキュラムに合わせることで、学校の利用率が向上します。

企業が子どもたちに伝えたいことは、そのままと学校現場では使いづらい場合があります。それは、**学校では、各学年各教科ごとに、教える内容と実施時間数が決まっている**からです。



ですので、例えば、小学5年生の社会科（地域産業）や、小学6年生の家庭科（栄養）の授業で使えるような教材にすることで、学校・先生にとって使いやすくなります。**企業のサービスが生み出している価値を「教材化」**することで、**学校での利用率が向上**します。

教育現場への企業参画は教育カリキュラムに準じたコンテンツの作成をすることによって
社会貢献活動の一つの手法として役に立ちます

事務局委託でサステナブルな長期活動を実現

- 事例1 -

日本マクドナルド株式会社様・食育教材「食育の時間+」 <https://www.chantotaberu.jp/>

誰もがいつでも無料で使える食育教材

日本マクドナルドが運営するサイトで、NHKエデュケーショナルが制作した食育教材（教材動画・アプリ・教師用指導案・児童用ワークシート）を誰もがいつでも無料で使えます。



学校へのPRとデモ授業を事務局が実施

教材のPRをNHKエデュケーショナルが事務局として実施。希望する学校や教育委員会と連携して、事務局担当者が現地またはオンラインで「教材を使った授業のノウハウ」を先生たちに伝えます。

サステナブルな長期活動

食育基本法が制定された2005年に教材を制作してから、学校現場の食育実践を支援する活動は現在も続いています。長期活動を実現できた背景には、教育現場で本教材の活用をサポートする事務局の存在があります。教材は、これまでに約2万4千カ所の教育現場で使われており、2022年には農林水産省の「デジタル食育ガイドブック」

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/network/movie/index.html>でも紹介されました。

新しい商品の使い方を先生にもわかりやすく提示

- 事例3 -

ソニーマーケティング株式会社様

新しく開発した商品を学校の授業で使えるように

ソニーが新しく開発したプログラミングツール『MESH』。プログラミング教育という新しい分野の教育を、『MESH』を使って、小学校の理科や図工の時間で使えるように、NHKエデュケーショナルが書籍とDVD映像を制作しました。

学校で使ってもらうために、先生にもわかりやすく

「プログラミングツールを使ったプログラミング教育」という全く新しい授業を、全国の先生たちが手軽に実践することができるように、『MESH』を取り入れた小学校の授業の様子を、NHKエデュケーショナルが取材・撮影しました。先生が指導する様子や児童の反応を「プログラミング教育の教え方動画」としてまとめて、先生にもわかりやすくしました。

https://meshprj.com/jp/pdf/dvdbook/MESH_edu_tokoha-tachibana-e-3-science-1.pdf

MESHを使ってできること

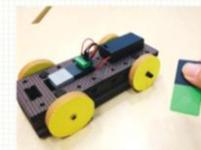
1. センサーで状態を確認したり、電気部品を動かせる



人が通過したら信号を送る



温度・湿度を計測して記録をする

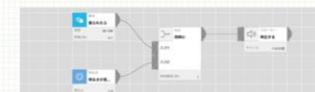


モーターとつないで車を動かす

2. 簡単なプログラミングで「しくみ」がつけれる



操作は指でなぞってつなげるだけ!



振動と明るさの変化を同時に感知したら、スピーカーが鳴る



30分に1回、温度を測り、気温の変化をLEDの色で知らせる

会社概要

社名	株式会社NHKエデュケーショナル
所在地	〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7番13号
事業内容	放送番組等の企画、制作、購入 ホームページ作成等デジタル関連業務 幅広い世代を対象にした教育、教養コンテンツ制作・販売 イベント・シンポジウム等の企画・実施 各種権利ビジネスや編集・出版関連業務 放送大学関連番組の制作
従業員数	282名（2020年度）
設立年月日	1989年5月30日